



小学校体育大会(水泳大会、球技大会)北ブロックの結果

祝

【優勝】 女子バレー部

【準優勝】 サッカー部

【第三位】 男子バレー部、男子水泳部



トーナメント形式の大会での優勝というのは、他のすべてのチームが負けて終わる中、最後まで一度も負けなかった唯一のチームということです。他の誰も味わうことのできない希少価値のある素晴らしい結果です。

また、準優勝・第三位というのは、「勝つ喜び」と「負ける悔しさ」の両方を十分に味わったということです。この両方を味わうことができたのもまた、この先の糧となる貴重な経験です。水泳部の場合は「勝ち負け」ではなく、「がんばってよかった」という、満足感を味わうことができたことと思います。

入賞という結果には届かなかった他の部活動の皆さんも、これまで一生懸命に練習に取り組んできたことは変わりません。これまでの地道な努力を称えます。そして、保護者の皆様のご協力、力強い応援に感謝申し上げます。

満足な活躍ができなかった子供たちへ

私がかつて担任した子供たちのことを紹介します。名前以外は実話です。

中山君は5年生のときに岡崎市小学校陸上大会の5年100mで優勝した瞬足。6年生になり、ソフト部では1番ショートで活躍し、球技大会ではチームの準優勝に大きく貢献しました。この年の小学校陸上大会では12秒8の好タ

イムで100m2年連続優勝。400mリレーではアンカーを走りこれも優勝。チームとしても総合優勝しました。

この時のソフト部のキャプテンは中川君。エースで4番。剛速球で準優勝の立役者。決勝戦は4-5で敗れたのですが、失点はすべてエラーがらみ、得点は中川君の2ランホームラン2本でした。中川君は陸上大会ではソフトボール投げに出場し、80mを超える大記録で優勝。リレーも走り、中山君とともに陸上部総合優勝の中心メンバーでした。

この二人と同級生の中田君は同じくソフト部。ただし、守備は安定せず、打撃も今一つ。出場機会はなく、球技大会はベンチで応援をしていました。中田君は走るのも速い方だったので、中山君、中川君とともに陸上部に入部します。しかし、100mのタイムは6番目くらいでリレーメンバー入りはできず、走り幅跳びや80mハードルなどにも挑戦しますがいずれも出場機会はなく、陸上大会もテントで応援でした。

3年後、彼らは中学3年生。中山君は陸上部で100mの選手。西三大会、県大会、東海大会と進みますが、全国大会には出場できませんでした。中川君は野球部のエースとして活躍しますが、西三大会で敗退し県大会出場もありませんでした。

そして、ソフト部でも陸上部でも出場機会のなかった中田君。中学校では陸上部に入り、400mを専門に取り組むと、ぐんぐんタイムをあげ、中学3年の夏にはなんと全国大会の標準記録を突破。ただ一人、全国大会への出場を果たしました。

小学校の職員室にこのニュースが届いたとき、大きな驚きの声が上がったことを今でもよく覚えています。

小学校のとき、市内の大会にさえ出場できなかった子が、3年後には全国大会に出場するようになるのです。たとえ今、部活動で活躍できなくても勉強が苦手でも、何の心配もありません。夢や目標を掲げ、こつこつと努力を積み重ねていきましょう。